

令和2年度 第2回魚沼市総合教育会議 会議録 (要点筆記)			
1 日時	令和3年1月19日(火) 15:00~16:00		
2 会場	魚沼市役所 小出庁舎 301会議室		
3 出席者 (敬称略)	魚沼市総合教育会議		
	役職	氏名	出欠
	市長	内田 幹夫	○
	教育長	—	—
	教育長職務代理者	星 麻衣	○
	教育委員	高橋 昇	○
	〃	浅井 誠哉	○
	〃	八木 由美子	○
		魚沼市 事務局長 吉澤国明 子ども課長 小林 淳 政策監 伊佐貢一 管理指導主事 島田昌幸 学校教育課副参事 佐藤彰弘 事務局 秘書広報課長 森山丈順	学校教育課長 齋藤勝浩 生涯学習課長 大桃 明 統括指導主事 吉田勇一 管理指導主事 吉橋 哲 広報広聴係長 広瀬 大
4 議事内容	市長あいさつ 議事 魚沼市教育大綱について		
5 配布資料	日程及び関係資料		

6 議事録

開会

市長あいさつ

(市長) 平成28年に制定した魚沼市教育大綱の計画期間が今年度末で終わるため、市総合計画後期基本計画と併せ、次期5年間の大綱を制定したいので審議をお願いしたい。

※自己紹介

議事(1) 魚沼市教育大綱について

※事務局より資料に基づき説明

(市長) 目標を達成するための5つの施策について、意見等をいただきたい。質問があれば

事務局から回答します。

(浅井委員) 施策2のグローバル人材の育成、外国語教育は必要なものだと思う。積極的な予算付け等をお願いしたい。

(市長) 外国語教育は確かに重要だと考えている。

(市長) 他に意見等無いようであれば、私からもいくつか意見を述べたい。

お金の知識を持ち、それをうまく活用する力「マネーリテラシー」を養う教育が海外では進んでいる。お金を稼ぐ力(ニアリーイコール)生きる力、と言える。仕入れ、販売、利益、貯金や借入金などについてを学ぶ機会があっても良いのではないかと思う。学校だけでできないのであれば、地域の人が入って行っても良いと思う。

夢を持ち競技に向かうアスリートを育成する体制整備等は、ぜひ実践していきたい。子どもは地域の宝であるので、地域との関りを大事にした体制とすることが大事だと感じている。

芸術・文化活動を進める中で、子どもたちの郷土愛を育みたい。自分たちが住んでいる地域を好きになるような、自信を持ってもらいえるような取り組みがあると良いと感じている。

(星委員) 小学校では食費、光熱費など家計面について学ぶ機会はある。お金の知識は全般的に**大切と考える**。

(八木委員) 堀之内の小中学校では、お祭りの際に、商工会の指導で、販売体験をしている。

(生涯学習課長) 現在、ソフト面からアスリート育成を支援している。スポーツ協会へ年間670万円の補助金を交付し、うち360万円がスポーツ少年団に出されており、ジュニア育成に充てられている。また、競技スポーツ活動の支援として高位大会への出場者に対する激励金として年間170万円の予算を確保している。高校生以下のアマチュアが対象であるが、今後は一般の大人に対しても同様の支援ができないか検討していきたい。

スポーツ協会やエンジョイスportsなどと協議しながら、質の高いスポーツプログラムを検討していきたい。

(市長) 地域で活動しているボランティアのスポーツ指導者は、コロナ禍の中、自分たちで責任を負い、自己資金を投じて、3密対策などを講じながら活動を継続することを模索している。これらを支援できるような対策も考えられると良い。感染症の影響で、練習や試合を中止にするのは理解できるが、何とかしたいと思う保護者がいて、その努力に甘んじているところあると思われる。

生徒数の減少から、部活動として学校内で団体スポーツチームを維持できない現状がある。部活動が学区を超えて活動する仕組みなどを、市全体で考えていかなければならないと感じている。

(事務局長) 部活動の継続には、危機感を持っている。各団体等から構成する会議で対策会議を行っており、近々第2回目の会議も予定されている。

ボランティア指導者の熱意だけが頼りという体制や、ボランティアの人の持ち出しがあるようでは、持続可能な体制とは言えないので持続可能な仕組み作りを進めていきたい。

(市長)他に質問意見等無ければ、この案をもって魚沼市教育大綱を定めることに意義はありませんか。→異議なし

(市長)異議なしということですので、決定させていただきます。

議事(2)その他

(市長)その他について、何かないか。なければ、私から1点意見を述べたい。

中学校の県スキー大会で、魚沼市の生徒は優れた成績であったが、全国大会は中止となり、選手たちは泣くに泣けない状況と聞いている。感染症の対策が困難なことはわかるが、中止にむかう大人たちの背中を子どもたちは見ていると思う。その子たちが責任を取るべき立場になったとき、困難な状況に立ち向かえないのではないかと心配である。成人式の中止の判断についても同様と考えているので、開催方法を考えてもらっている。意見として皆さんにお伝えしたい。

(浅井委員)現在、教育長が空席であるが、いつごろまでに決定される見込みか。

(市長)次の議会にはかれるようにしたい。

(星委員)先ほど、グローバル教育、英語教育についての意見があったが、市長はどのような具体的な考えを持っているのか。

(市長)子どもたちは、英語のなかに入って一緒に遊んだり、食事を食べたりすると、どんどん英語に慣れていくと感じている。子どもの吸収力はそれだけ早いと思う。近隣には国際大学もあるので、その人たちと仲良くできる機会を増やすことなどはできないか考えている。

(星委員)市の主催や学校の授業とかでなく、地域の人々が核になって国際大学と交流する機会などを考えているのですか。

(市長)地域にも英語を話すことができる人がたくさんいる。地域が夏祭りなどで国際大学などと交流することにより、子どもたちは自然と英会話が身に付く。市としても学校の授業だけでなく、そのような機会を増やしていきたいと考えている。

(市長)その他、何かありませんか。

→無し

(市長)それでは本日の魚沼市総合教育会議を終わります。本日はありがとうございました。

閉会